

当病院で

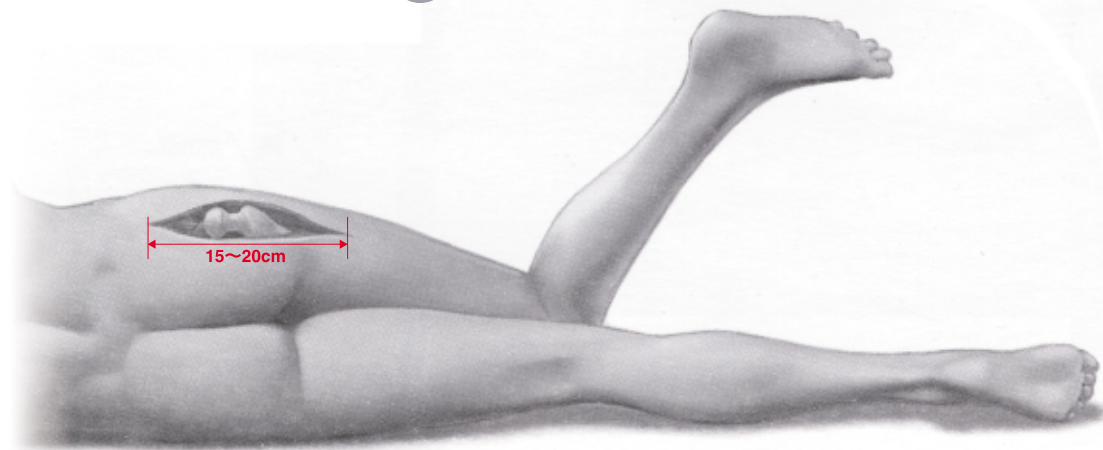
# 最小侵襲人工股関節手術

(より小さな皮膚切開)

EM・アイ・エスによる人工股関節置換術の新しい手術方法です。

をうけることができます。

従来の手術では15~20cmの皮膚切開を行っていましたが、最近導入された小侵襲手術では6~12cmの皮膚切開で従来と同様の高品質で信頼性の高い人工股関節の使用が可能です。



従来の手術



小侵襲手術

- 早期退院
  - 早期社会復帰
- を実現します。

## Point 1 手術後の傷跡が小さくなります。

従来の手術に比べ小切開手術は約半分の傷跡で、場所も目立ちにくくなり

## Point 2 入院期間が短くなります。

これまでの1~2ヶ月程度から2~3週間程度に短縮されます。

## Point 3 リハビリを早く行うことができます。

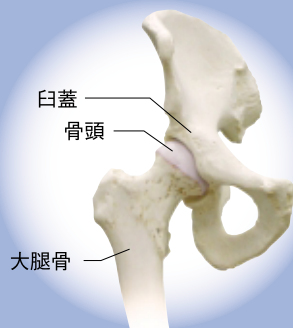
傷が小さくて痛みも少なく、仕事や日常の生活に早く戻ること、入院費を含め負担を軽減できます。

◆ 小さな切開から手術をするので医師の技術がとわれ、熟練した整形外科医のみ手術が可能です。

◆ 置き替えられるインプラント(人工股関節部品)は、従来の人工股関節置換術で使用する材質と同様に高品質で、信頼性の高いものです。

皆さんが感じる股関節の痛みやこわばりの原因は...

- 先天性の臼蓋形成不全の股関節脱臼 (日本人に多い)
- 関節の軟骨の摩耗\* (変形性関節症)
- 病的な関節の炎症 (関節リウマチ)
- アルコールやステロイドの長期投与による骨の血行不全 (骨頭壊死)



などがあります。\*摩耗=すり減ること

なめらかで摩擦の少ない新しい股関節...

人工股関節置換術とは、傷ついた股関節を、関節の代替あるいは補助として働くインプラントと呼ばれる人工股関節部品で置き換えます。インプラントは、ソケット、ボール、ステムの3つの部分から成っています。金属のボールをソケットと組み合わせれば、新しい股関節として、なめらかで摩擦の少ない動きが得られます。

